帝京平成大学
オープンキャンパス

薬学部

楽しく学ぼう！

2019　08　18

模擬授業

体験実習

オープンラボ

ガイド

薬学部・オープンキャンパス
タイムスケジュール

◆ 薬学部について（３階303教室）　11:20~11:50
◆ 模擬授業　（３階303教室）　11:50~12:20
「ゲノム編集ってなんですか？」
◆ 薬学部の実習を体験　（４階436　SGDルーム）
「セミナー科目を体験してみよう！(身体的な)不自由体験」
見学随時　（体験：1回目 10:40~　2回目　13:00~）

◆ 薬学部の研究を覗いてみよう①（4階416号室専門ラボ6）
「 細胞や組織を見てみよう」
見学随時　10:00～14:30

◆薬学部の研究を覗いてみよう②　（4階413号室専門ラボ9）
「アレルギーを起こす物質を測ってみよう」
見学随時　10:00～14:30
◆ 薬学生や先生と話してみよう(５階アリーナ薬学部ブース)
「薬学のこと、薬剤師のこと、なんでも訊いてみよう！」
相談随時　10:00～15:00

その他（全学部共通）

学食体験　11：00-14：30（ラストオーダー 14：15）(1階　学生食堂)
入試概要説明　①10：30-11：10　②12：50-13：30　（2階　225教室）
面接対策講座　①10：40-11：10　②13：50-14：20　（①4階　442教室）
（②2階　225教室）
入試・学生生活・宿舎相談　10：00-15：00　（5階　アリーナ）
宿舎相談　10：00-15：00　（5階　501教室）
キャンパスツアー　10：30-14：40(随時)　（1階で受付）
メディアライブラリーセンター（図書館）10：00-15：00　(8階)

模擬授業　（11：50-12：20）
303教室（３階）

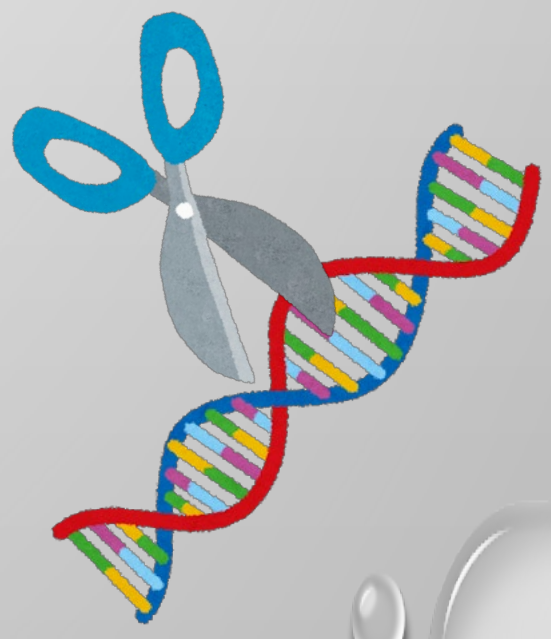
ゲノム編集ってなんですか？

生物学、医学の分野で今最も注目を集めている新しい技術の一つが『ゲノム編集』です。動物や植物、そして我々人間が持っている遺伝子を自在に操作する事を可能にするゲノム編集を応用すれば、いままで困難だった遺伝病等の難病を治す事が可能になるかもしれないと期待されています。その一方で遺伝子を人為的に改変するという事に対して倫理的観点からの議論もあります。そんなゲノム編集の仕組みや発見のきっかけについてお話ししたいと思います。

講師　青木　一真
細胞生化学研究ユニット

東京農工大学大学院連合農学研究科博士課程修了、博士（農学）。
理化学研究所など幾つかの研究機関を経て、現在は帝京平成大学薬学部にて１年生の生物系薬学概論という講義や３年生の生物系実習を担当しています。

生物についてよく知ることは、病気や薬が効く仕組みを理解する上でとても重要なんです。



体験実習

セミナー科目を体験してみよう

会場：ＳＧＤルーム（４階　436）

体験実習時間（1回20分程度）

１回目10：40　2回目13:00 (定員制：見学は自由です)

高齢化社会が問題となる中、医療職として薬剤師も高齢者の視点に立った態度が求められます。本学のセミナー科目では1年生において高齢者の立場を理解するために、「(身体的な)不自由体験」を教育プログラムに取り入れています。

この実習では、様々な体験を通して高齢者医療における薬剤師の役割について考えたいと思います。

高齢者体験
（装具装着）

車いす体験

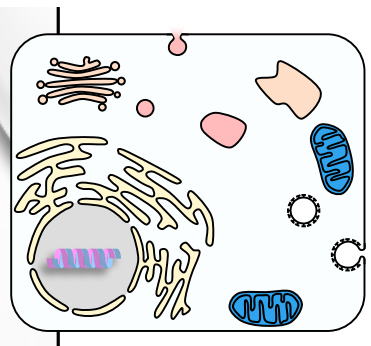
不自由体験
のサイクル

視覚障害者体験

調節運動能力を80歳前後に低下させる
高齢者疑似体験装具を装着
画像:「京都科学オンラインカタログ」より

お年寄りをいたわるように、しっかり介添えしないとね？

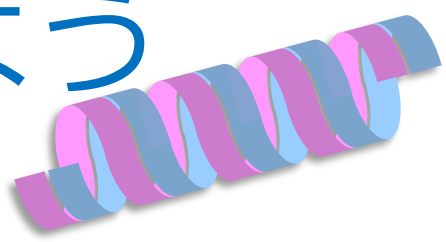
担当教員（五十音順）
社会薬学教育研究センター
荒川一郎、鈴木政雄、
田村京子、西村哲治



オープンラボ

薬学のラボを体験しよう！！

細胞や組織を見てみよう



会場・時間

専門ラボ6 416室（4階）

10:00～14:30(見学随時)

- 私たちの体は、細胞という小さな『粒』が集まった組織や臓器でできています。そして、この細胞や組織で働いているタンパク質は、様々な疾患と関与することが知られています。私たちは、これらタンパク質の研究を行うことで、新しい薬の標的を見つけようと試みています 。今回のオープンラボでは顕微鏡で細胞や組織を観察することで、普段おこなわれている研究の一部を体験してみて下さい。
- 担当教員

細胞生化学ユニット

辻本雅文

ヒトの体には約60兆もの細胞が存在し、それぞれの細胞がつくるタンパク質が生命現象を調節しています。普段は目に見えない細胞や組織を実際観察してみましょう。

細胞生化学ユニット

後藤芳邦

新しい薬の開発には、その対象である病気や疾患の背景にある生命現象を詳しく理解することが必要です。そのため薬学部では分子・細胞レベルでの基礎的な生命科学の研究も活発におこなわれています。

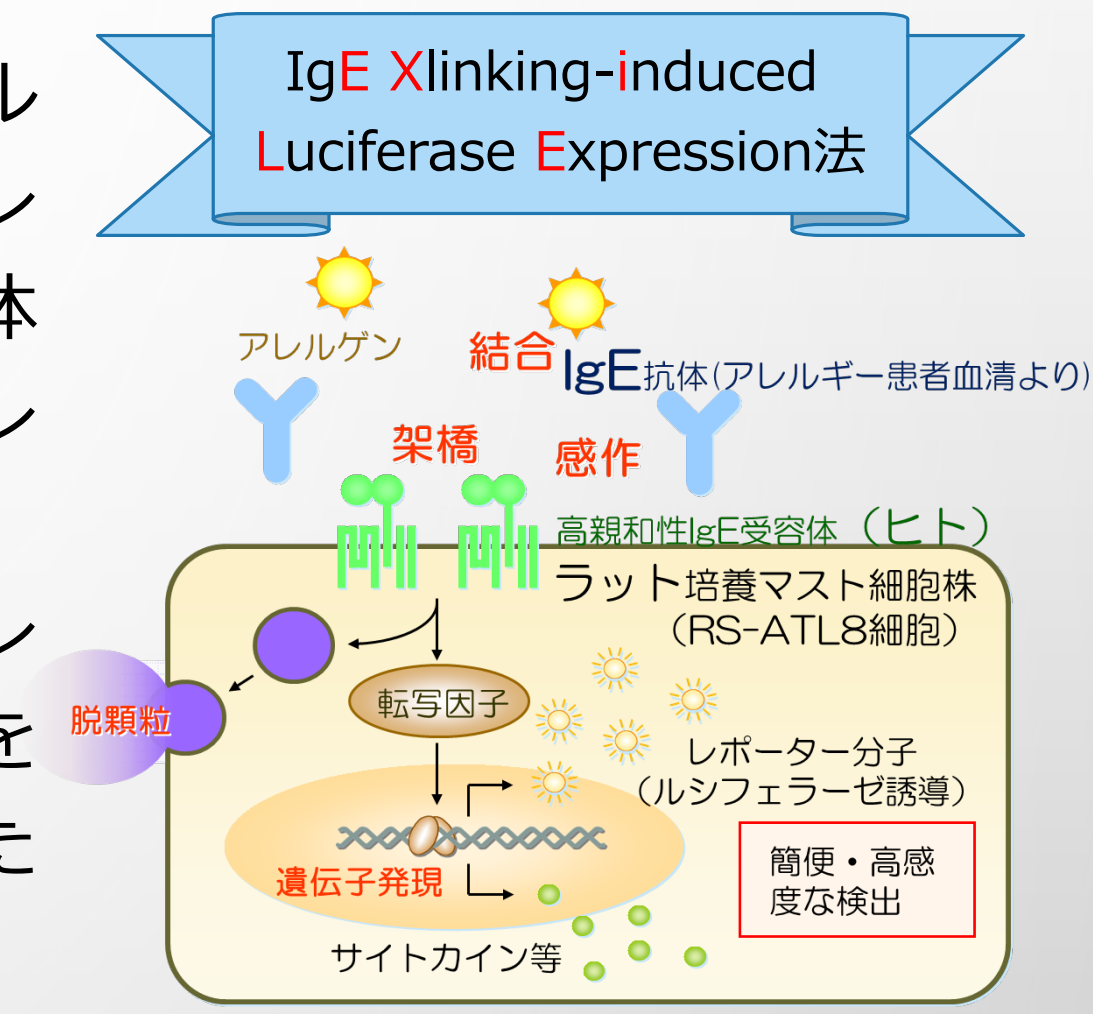
オープンラボ

薬学のラボを体験しよう！！

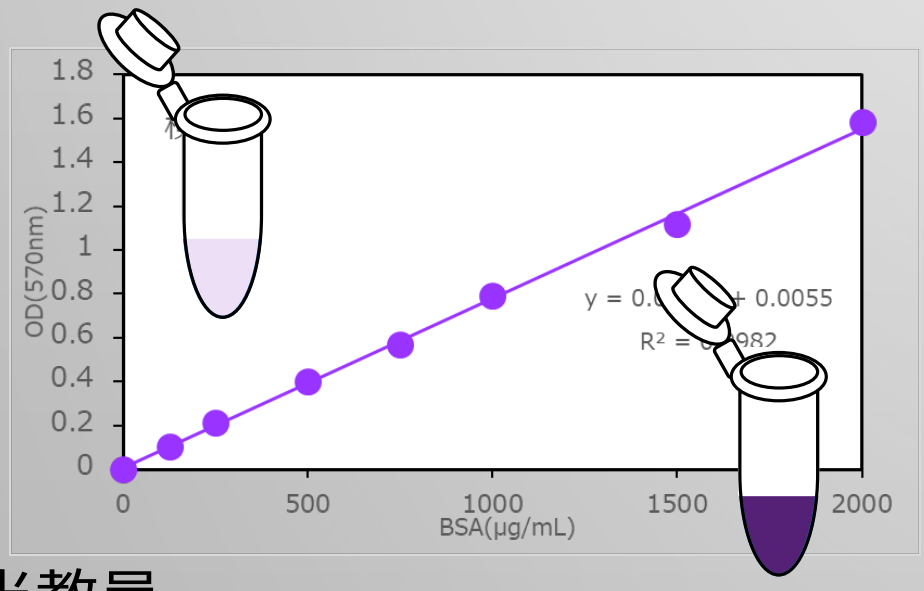
アレルギーを起こす物質を測ってみよう

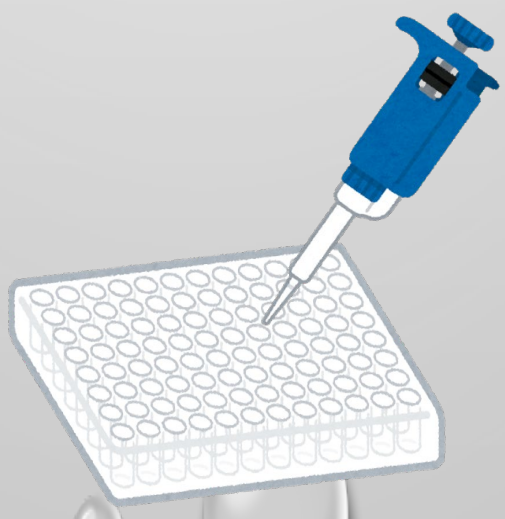
会場：専門ラボ9　413号室（4階）
時間：10:00～14:30
(見学随時)

- 食べ物のアレルギー、花粉症など、アレルギーを持つ人がとても増えています。アレルギーを起こす物質『アレルゲン』の正体はタンパク質です。私たちのラボは、アレルゲンが体の中に侵入して重篤なアレルギーを起こすまでの詳しい仕組みや、アレルギーになってしまった人をアレルゲンを使って直す治療法の研究を、細胞を使った新しい評価法を用いて行っています。



- アレルギーの発症も治療も、アレルゲンの量が大事です。今回のオープンラボでは、アレルゲンのようなタンパク質の量をきちんと測る（『定量』といいます）実験を体験していただきます。また、現在行っている研究についてパネルや動画で紹介します。





担当教員
薬物治療学ユニット　秋山晴代
栗坂知里